

## 第6 資産カルテ（平成27年度決算）

### 1. 資産カルテの目的

県が管理する大規模な県有施設については、建設後の維持管理など今後の県財政への影響があることから、施設の状態や今後の大規模改修・修繕計画などについての的確な把握に努め、適正かつ効果的な維持管理を行っていくとともに、今後の維持管理や施設整備に対する県民の皆様の理解を得る観点から、施設に関する財務情報をわかりやすく提供していくことが重要と考えます。

このため、県議会からの提言も踏まえ、施設の適切な管理と県民の皆様への情報開示のため、大規模施設について「資産カルテ」を作成し、公表しています。

### 2. 対象施設の考え方

#### (1) 施設の規模

県財政への影響の観点から、施設の規模が相当程度あること。

#### (2) 県民の利用

県民への情報開示の観点から、広く県民に利用されている施設であること。

#### (3) 利用料金の徴収

維持管理費と料金との関係を検証する観点から、利用料金を徴している施設であること。

### 3. 今年度における対象施設

上記の考え方にに基づき、今年度は、以下の施設の資産カルテを作成しましたので、次頁以下に掲載します。

#### ○三重県総合文化センター

複合文化施設（文化会館、県立図書館など）

#### ○三重県立美術館

#### ○三重県営サンアリーナ

コンベンション施設（メインアリーナ、サブアリーナなど）

#### ○三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）

総合スポーツ施設（水泳場、庭球場など）

#### ○三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）

総合スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）

#### ○三重県総合博物館

### 4. 資産カルテの活用

県が管理する大規模施設について、長期にわたり計画的かつ効果的な維持管理を進めるとともに、施設に関する財務情報等をわかりやすく提供するため、この資産カルテを活用し、施設の運営管理の状況を多面的にチェックしていくことで、利用者の皆様に良質なサービスを提供し効率的な施設管理を行っていくよう努めます。

資産カルテ【平成27年度決算】

施設名

三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産		財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	432億6千4百万円	財源計	432億6千4百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上	
	建物建設費(A)	364億6百万円	(内訳)			
	1期(当初)	357億5千9百万円	国庫支出金	—	建物建設費・改修費累計額①	
	立体駐車場建築	6億4千7百万円	地方債	298億6千7百万円		・これまで 364億 6百万円
	用地費(B)	27億5千3百万円	県費その他	133億9千7百万円		・今後 10億 円
備品・その他(C)	41億5百万円	(地方債残高	16億6千4百万円)	※借換債を含む	計 374億 6百万円	
過去の改修費	0円	0円	※資産価値の増減を伴わない修繕については修繕費に整理しました。		修繕費累計額②	
今後の整備	大規模改修等計画(予定)		10億円		・これまで 34億1千4百万円	
	・平成28年度 建築設備・建築物 5億円 ・平成46年度 建築設備・建築物 5億円			・今後 55億6千5百万円	計 89億7千9百万円	
今後の修繕	修繕計画(予定)		55億6千5百万円		人件費累計額③	
	・舞台修繕(28~29)	4億3千7百万円		・これまで 106億8千2百万円		
	・舞台設備(30~55) ・建築設備(28~55)	25億2千万円 26億8百万円		・今後 141億1千9百万円	計 248億 1百万円	
運営費(単年度)	支出額(決算額)	H27	H26	収入額(決算額)	H27	H26
	人件費	545,452	503,899千円	料金収入	178,322	161,686千円
	管理費	476,652	524,429千円	……A1		
	修繕費	382,754	253,911千円	事業収入等	170,911	228,283千円
	事業費	504,651	479,240千円	県費負担額	1,902,995	1,666,941千円
	元利償還金	342,719	295,431千円	……A2		
	計	2,252,228	2,056,910千円	計	2,252,228	2,056,910千円
					管理費累計額④	
					・これまで 115億6千 万円	
					・今後 148億7千5百万円	
					計 264億3千5百万円	
					利子累計額⑤	
					・これまで 96億5千万円	
					・今後 3千4百万円	
					計 96億8千4百万円	
					ライフサイクルコスト計	
					①~⑤ 計	
					1,073億5百万円	

成果指標(実績は27年度)	
目標値①	施設利用率 年間79.0%
実績	80.2%
目標値②	
実績	

利用者数	
・当初予定利用者数	年間71万人(図書館除く)
・実績(平成27年度)	743,575 人(図書館除く)
	316,485 人(図書館)
計	1,060,060 人 …… B
(参考) 利用者1人当たりの運営費負担額(H27)	A1÷B H27 168 円
	【 H26 154 円 】

県民1人当たり運営費負担額(H27)	
A2÷CH27	1,048 円 C… (H27推計人口) 1,815,827 人(H27.10.1)
【 A2÷DH26	916 円 D… (H26推計人口) 1,820,491 人(H26.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・県民の誰もが文化芸術を享受でき、文化活動に参加・参画できる環境づくりを進める。
- ・運営の中で積み上げてきた事例や蓄積された幅広いノウハウ、成果を県内の市町や県民に情報発信し、新しい地域社会を創造する原動力となる「文化力」を高めていく。
- ・行政機関、民間団体、NPO、ボランティア等との連携を強化し、多様な学習機会、交流の場、発表の場を提供する。
- ・文化芸術、生涯学習、男女共同参画活動の拠点施設として、情報提供、交流、人材育成、活動支援等の専門性を発揮する。

料金体系

【営利】

- ・大ホール 平日午前 入場料1,000円以下 62,900円
- ・中ホール 平日午前 入場料1,000円以下 31,450円
- ・大会議室 午前 17,600円
- など

【非営利】

- ・大ホール 平日午前 入場料1,000円以下 41,930円
- ・中ホール 平日午前 入場料1,000円以下 20,960円
- ・大会議室 午前 8,800円
- など

施設の耐震化状況

建物構造物は、S56建築基準法改正後建築であるため、耐震基準を満たしている。  
吊天井については、H20に大ホール・中ホール、多目的ホール、H23にレセプションホール等の耐震改修工事を実施し終了。

施設のバリアフリー化状況

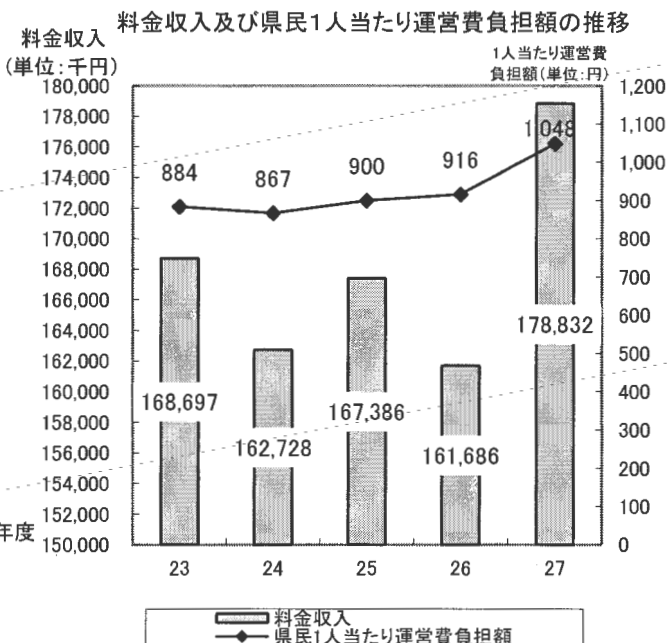
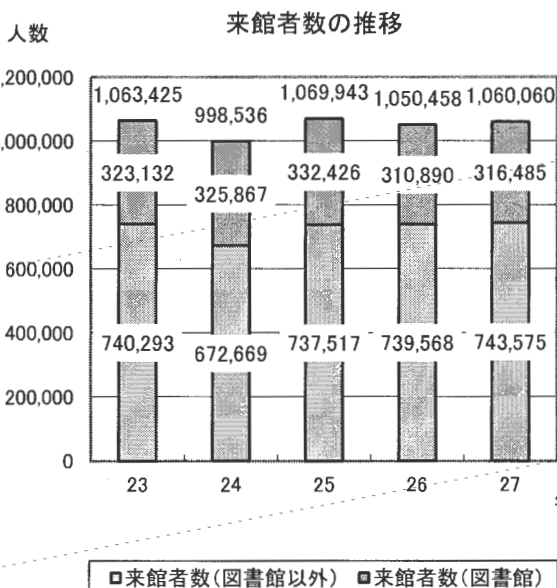
平成12年度にバリアフリー工事を実施済。(約1.2億円)(スロープ改修・階段手摺設置・点字ブロック設置・トイレ改修・車椅子用駐車場整備他)

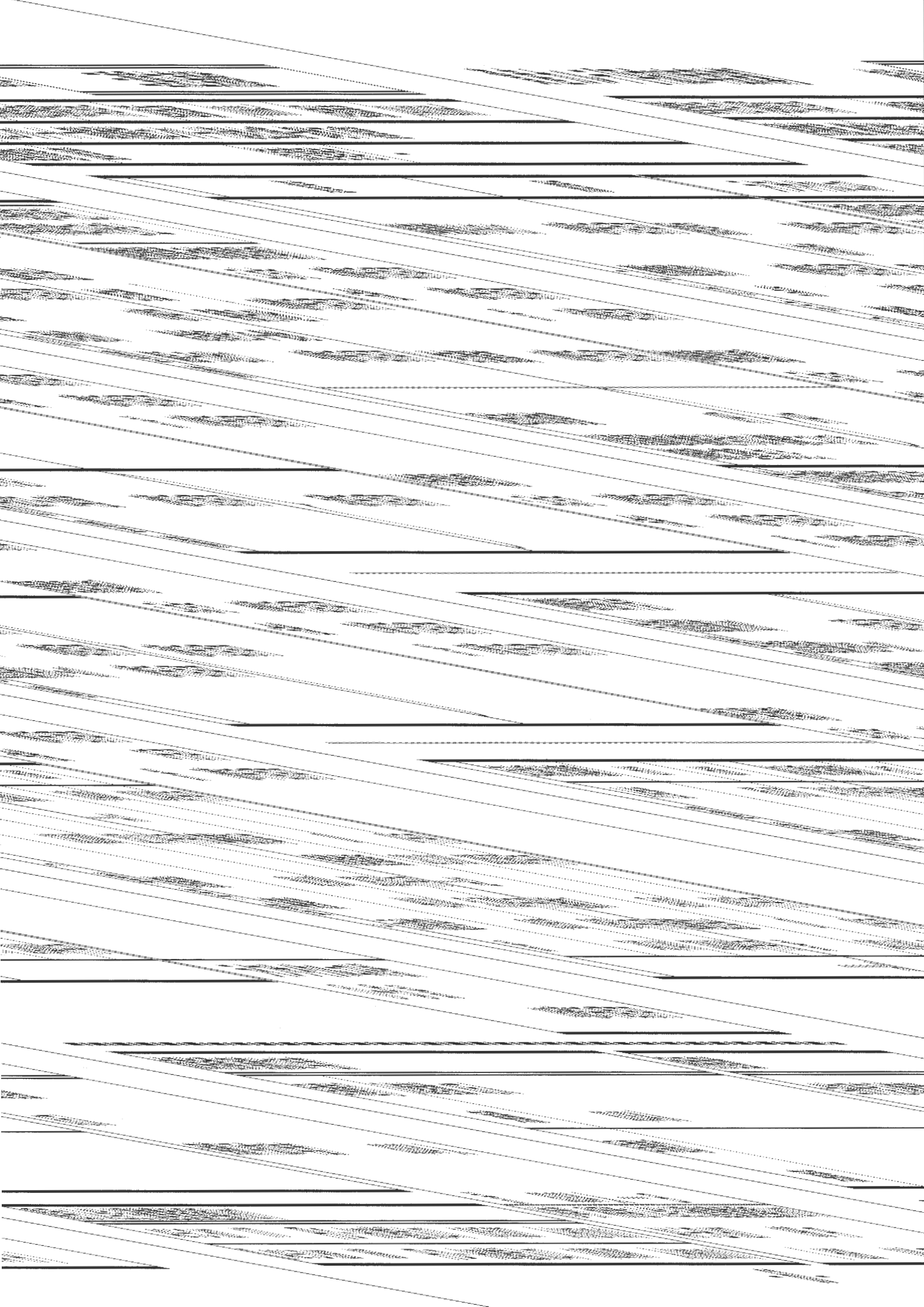
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

経営の効率化、柔軟な事業展開を行うとともに、機動性・弾力性の高さを活かして各種サービスの改善に取り組んできた結果、H24年度に過去最高の利用率を更新し、H27年度も高い利用率を維持している。  
県の文化芸術・生涯学習・男女共同参画の拠点施設として事業を展開しており、アウトリーチなど市町等との連携を積極的に行っている。今後も複合施設のメリットを活かした事業連携や県内各施設とのさらなる連携を期待する。

成果指標の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
施設利用率(%)	79.6	81.1	80.1	79.1	80.2





管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・明治期以降の日本近代洋画を中心に、現代の生きた動きを物語る作品、日本の作家たちに影響を与えた海外の作品、近世以後の三重県にゆかりの深い美術家の作品などを収集する。
- ・資料収集、調査研究、展示、教育普及など美術館の基本的な機能を重視し、独自の企画展のほか、多彩な展覧会を開催する。
- ・生涯学習活動として、移動美術館、美術セミナー及び各種講座、子どもの体験型ワークショップの実施など地域社会へサービスの充実を図る。
- ・美術館活動の活性化と支援のため、美術館ボランティア「櫻の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団との協力体制を整備し、それぞれ美術館と連携しながら積極的な活動を展開する。

料金体系

県立美術館

常設展 一般	300円
学生(大学・各種専門学校等)	200円
企画展は、その都度設定	

施設の耐震化状況

平成20年度にエントランスつり天井改修済み。柳原義達記念館A室、企画展示4室のつり天井は平成27年度に改修済。柳原義達記念館の彫刻作品の免震装置は、設置済み。その他の彫刻作品、工芸作品の免震装置はなし。

施設のバリアフリー化状況

展示スペースのバリアフリー化は、ほぼ終了している。

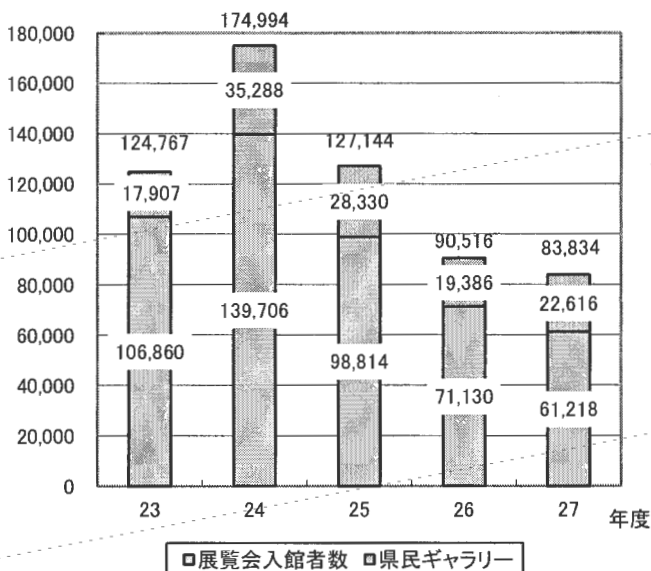
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

限られた経営資源で質の高い企画展を維持しながら、よりきめの細かいサービスを提供していく必要がある。また、美術館活動の支援団体である美術館ボランティア「櫻の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団等と連携しながら積極的な活動を展開する。

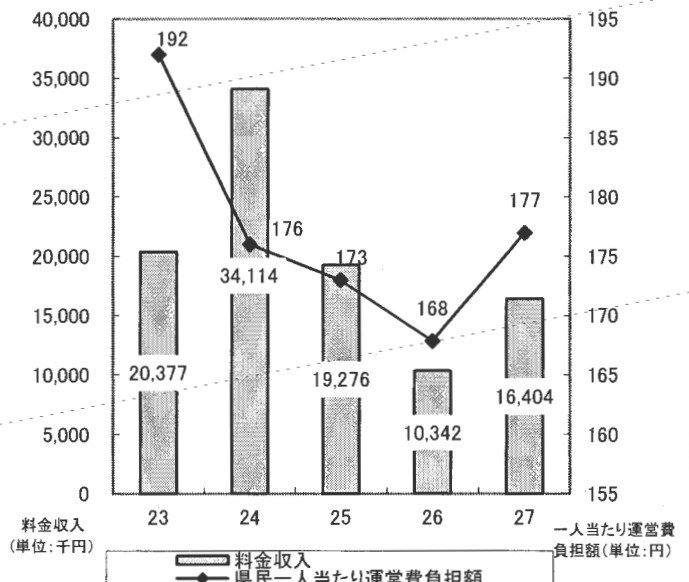
成果指標の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
展覧会入館者数	106,860	139,706	98,814	71,130	61,218
県民ギャラリー	17,907	35,288	28,330	19,386	22,616

人数 来館者数の推移



料金収入及び県民一人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【平成27年度決算】

施設名

三重県営サンアリーナ

建築年月日	平成6年5月竣工	供用開始日	平成7年1月4日	延床面積	24,312㎡	敷地面積	28,645㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート造及び鉄筋造3階建						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	株式会社 スコルチャ三重				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 180億4千万円	財源計 180億4千万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上</div> 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 160億1千4百万円 ・今後 0円 計 160億1千4百万円  修繕費累計額② ・これまで 12億9千6百万円 ・今後 30億1千7百万円 計 43億1千3百万円  人件費累計額③ ・これまで 20億8千8百万円 ・今後 23億7百万円 計 43億9千5百万円  管理費累計額④ ・これまで 45億4千4百万円 ・今後 52億6千6百万円 計 98億1千万円  利子累計額⑤ ・これまで 47億2千万円 ・今後 3千3百万円 計 47億5千3百万円
	(内訳) 国庫支出金 地方債 140億2千万円 県費その他 40億2千万円 (地方債残高 15億6千9百万円) ※借換債を含む		
過去の改修費			
今後の整備	大規模改修計画(予定)		

今後の修繕	修繕計画(予定)	} 30億1千7百万円
	・平成28年度 4千4百万円	
	・平成29年度 1億2千9百万円	
	・平成30年度 2億4千4百万円	
	・平成31年度(～H56) 26億円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H27	H26		H27	H26	
人件費	74,661	74,412;千円		料金収入	73,759	67,286;千円
管理費	174,868	176,444;千円		……A1		
修繕費	154,027	91,189;千円		事業収入等	31,429	28,197;千円
事業費	34,013	33,916;千円		国庫負担額	0	0;千円
元利償還金	421,486	426,959;千円		県費負担額	753,867	707,437;千円
計	859,055	802,920;千円		……A2		
				計	859,055	802,920;千円

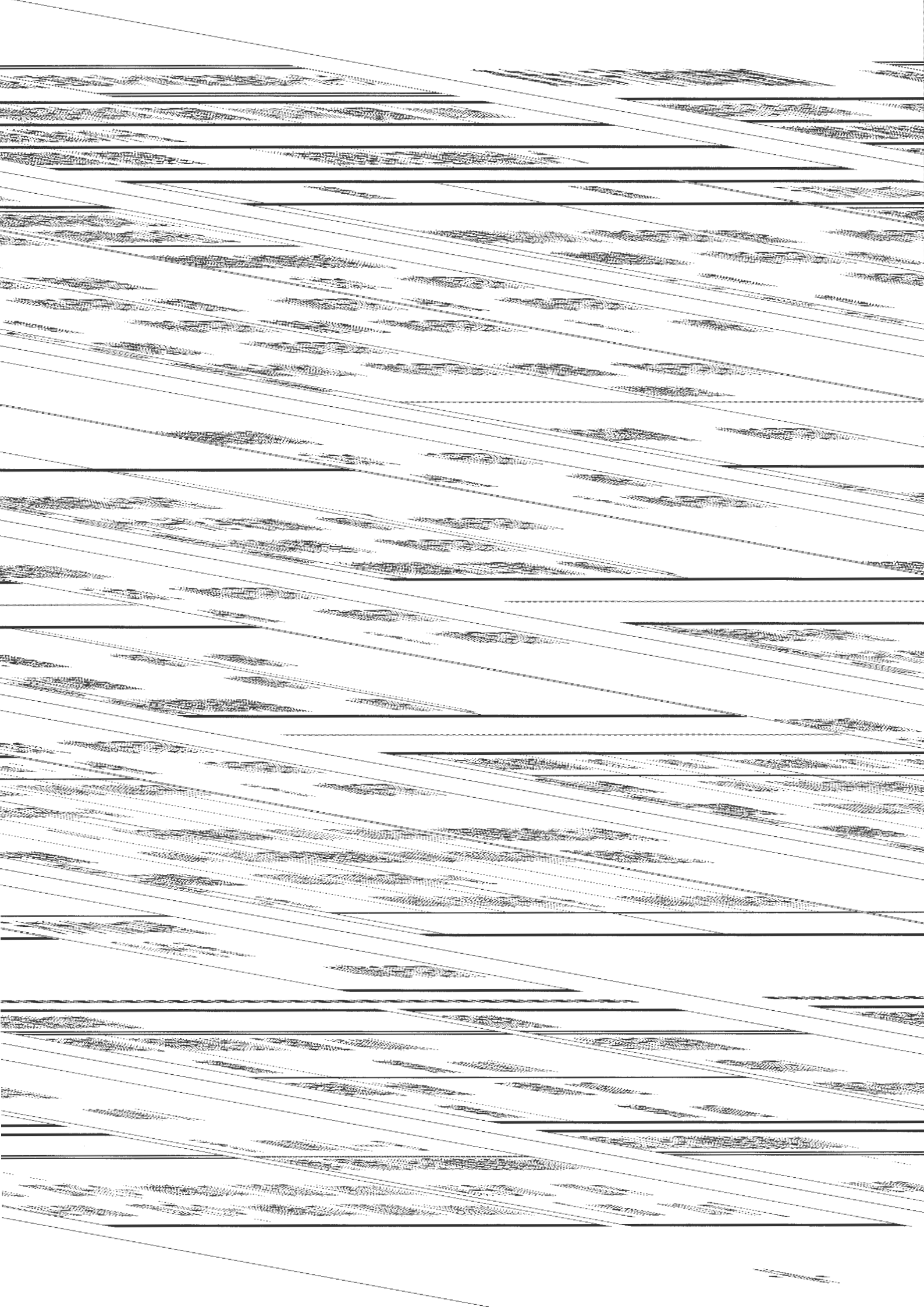
ライフサイクルコスト計  
①～⑤ 計 392億8千5百万円

成果指標(実績は27年度)		
目標値①	メインアリーナ平均稼働率	57.0 %
実績		55.4 %
目標値②	サブアリーナ平均稼働率	67.0 %
実績		67.1 %
目標値③	会議室等平均稼働率	20.0 %
実績		16.2 %
目標値④	サンアリーナ利用人数合計	320,000 人
実績		286,769 人

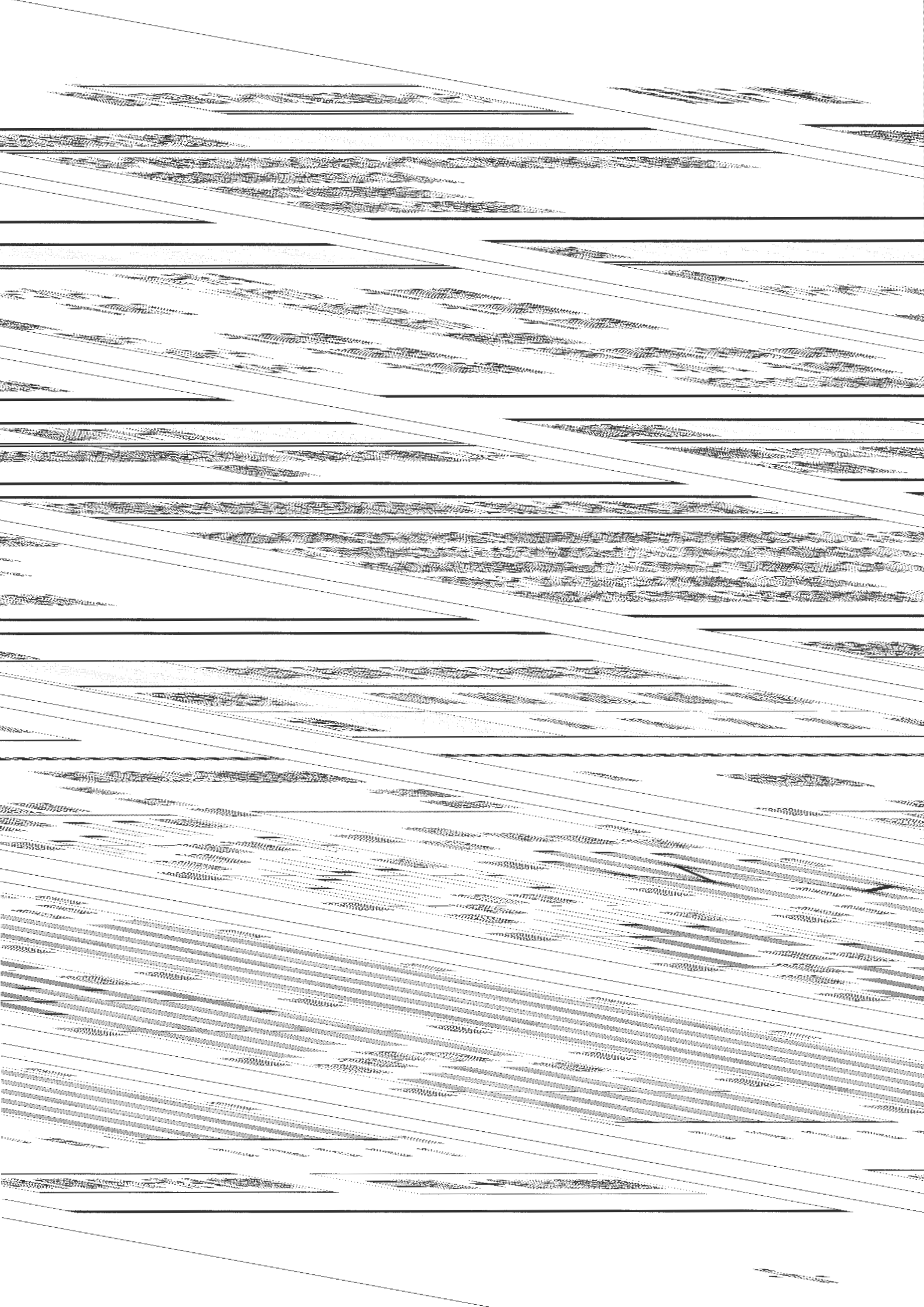
利用者数	
・当初予定利用者数	年間 32.0 万人
・実績(平成27年度)	286,769 人
計	286,769 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	
A1÷B H27	257 円
【 H26	291 円 】

県民1人当たり運営費負担額(H27)	
A2÷C H27	415 円; C… (H27推計人口) 1,815,827 人(H27.10.1)
【 A2÷D H26	389 円; D… (H26推計人口) 1,820,491 人(H26.10.1)









資産カルテ【平成27年度決算】

施設名 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場)

建築年月日	昭和39年3月	供用開始日	昭和39年4月	延床面積	10,530㎡	用地面積	85,628㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	22億6千5百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上(S39~H25) 建物建設費・改修費累計額② ・これまで 39億5千0百万円 ・今後 - 百万円 計 39億5千0百万円  修繕費累計額② ・これまで 0百万円 ・今後 - 百万円 計 0百万円  人件費累計額③ ・これまで 8億6千6百万円 ・今後 - 百万円 計 8億6千6百万円  管理費累計額④ ・これまで 15億6千5百万円 ・今後 - 百万円 計 15億6千5百万円  利子累計額⑤ ・これまで 2億9千7百万円 ・今後 - 百万円 計 2億9千7百万円 ※これまでの利子累計額には、未償還利子を含む。
	建物建設費(A)	19億7千6百万円	
	1期	2億1千0百万円	
	2期	2億8千0百万円	
	3期	2億6千2百万円	
	4期	5億2千5百万円	
	5期	6億9千9百万円	
	用地費(B)	0百万円	
	備品・その他(C)	2億8千9百万円	
	過去の改修費	29億8千5百万円	
今後の整備	大規模改修計画(～H34予定)	100億5百万円	
	・陸上競技場 91億 5百万円 ・体育館本館・別館 7億8千0百万円 ・トレーニングセンター 1億2千0百万円		

今後の修繕	修繕計画(～H34予定)		0百万円
	・陸上競技場	0百万円	
	・体育館本館・別館	0百万円	
	・トレーニングセンター	0百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H27	H26		H27	H26	
人件費	40,102	40,528	千円	料金収入	32,618	30,146 千円
管理費	42,418	43,596	千円	……A1		
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	9,316	13,404 千円
事業費	7,886	8,225	千円	県費負担額	57,704	57,666 千円
元利償還金	9,232	8,867	千円	……A2		
計	99,638	101,216	千円	計	99,638	101,216 千円

※修繕は、改修にあわせて実施。

ライフサイクルコスト計  
①～⑤ 計  
66億7千8百万円

成果指標(実績は27年度)			
目標値①	利用者数	目標値	317,900人
実績		実績	341,069人
目標値②	大会数	目標値	274回
実績		実績	322回
県民1人当たり運営費負担額(H27)			
A2÷CH27	32 円	C… (H27推計人口)	1,815,827 人(H27.10.1)
[ A2÷DH26	32 円	D… (H26推計人口)	1,820,491 人(H26.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間27万人
・実績(平成27年度)	341,069 人
計	341,069 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H26)	
A1÷B H27	96 円
( H26	86 円 )

